

発生日時	平成 25 年 6 月 18 日 (火)			9 時 25 分	天候	晴
工事情報	河川事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	光ケーブル切断		
事故概要	かごマットの作業中、バックホウにて、地盤を掘り下げ、光ケーブルを切断したものを。  公衆損害—地下埋設物件損傷					

## 事故発生状況



・かごマットの埋戻し及び整地作業中、詰石として使用できない土砂混じりの割栗石を、表面に露出させないよう地盤を掘り下げたところ、光ケーブルを切断。

・光ケーブルがあることは、認識しており、目印等の注意喚起措置も講じられていた。バックホウオペレーター自身も認識していた。

### 【事故発生原因】

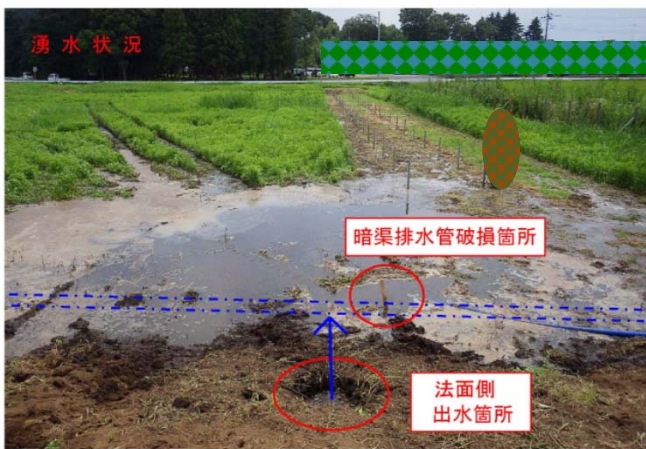
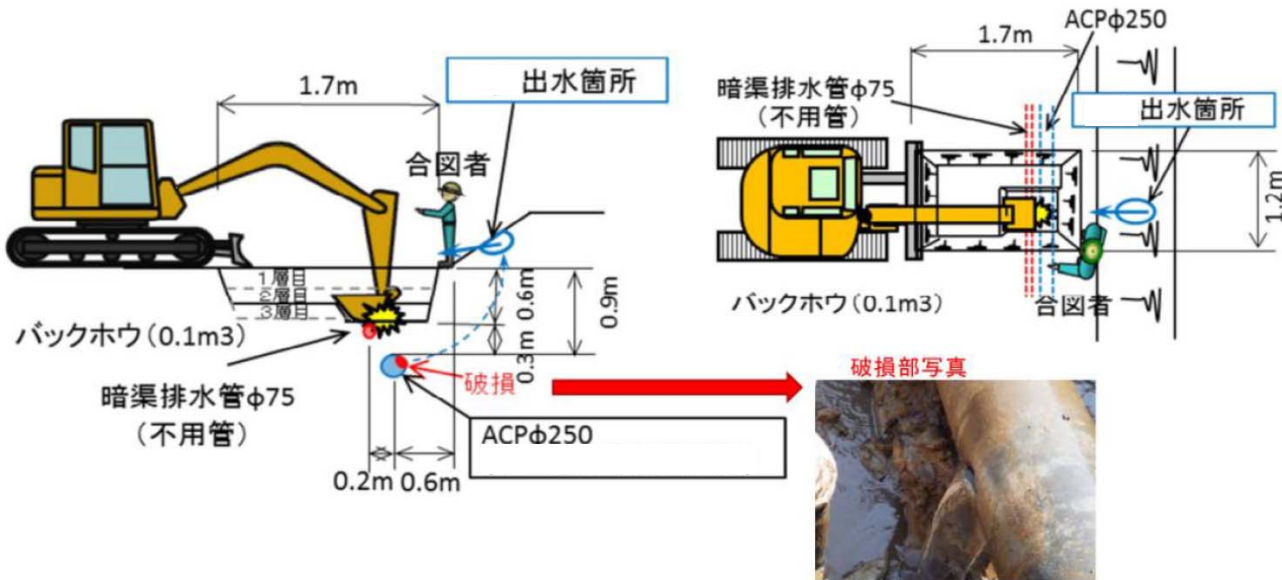
・埋設物がある場所での作業における注意点等の周知・徹底不足 など

### 【事故防止のポイント】

・埋設物がある場所で作業を行う場合の注意点等を周知・徹底する。 など

発生日時	平成 25 年 8 月 5 日 (月) 10 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	農業用パイプライン損傷	
事故概要	防塵ネット設置作業の際、単管パイプを打ち込む前に埋設管の位置を試掘中に農業用のパイプラインを破損したもの。				
	公衆損害-地下埋設物件損傷				

### 事故発生状況



**【事故発生原因】**  
 ・作業手順書の周知・徹底不足。  
 ・地下埋設物に対する注意喚起の不足など

**【事故防止のポイント】**  
 ・埋設管付近で作業を行う場合は、的確な作業手順書を作成・周知・徹底し、慎重に作業を行う。 など

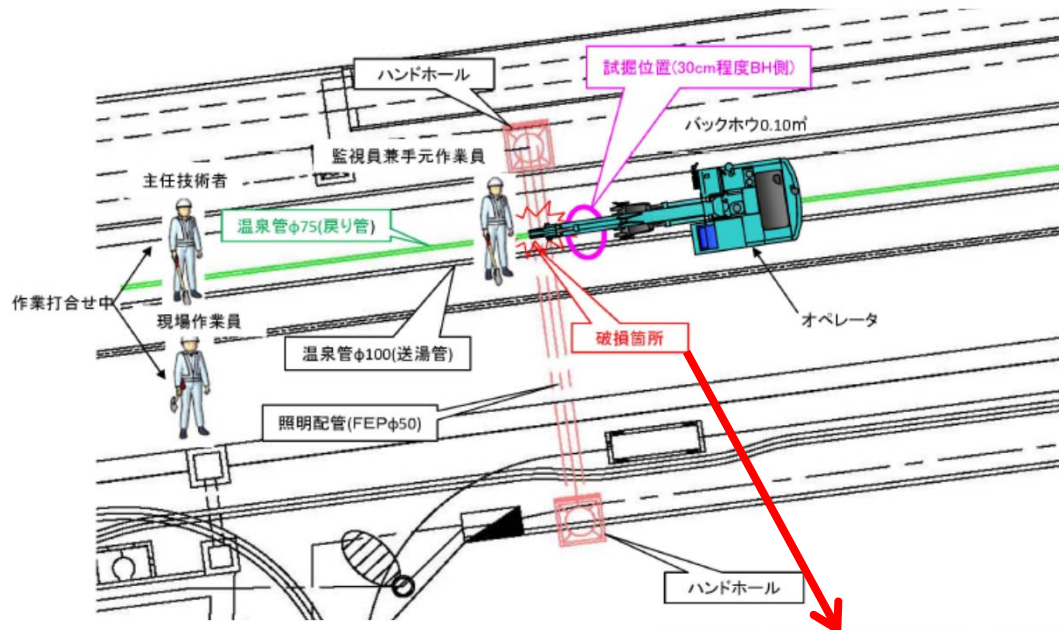
・防塵ネット設置作業において、単管パイプを打ち込む作業を行う前にパイプラインの正確な位置を確認するための試掘を行っていた。

・人力にて試掘を実施し、掘削で出た土砂をバックホウ(0.1m3)に積込みするためにバケットを下ろした。その際、合図者の合図が明確でなく、かつバックホウオペレーターが合図者の合図を見落とし、操作を誤って暗渠排水管を押しつぶした衝撃で、下部に埋設されていたパイプラインを破損させた。

・当日、当該作業は予定されていなかったが、工程を遅らせないために、急遽、当日の朝に本作業を行うように変更した。作業手順は朝礼時に口頭説明を行っていた。

発生日時	平成 25 年 8 月 9 日 (金) 13 時 10 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	温泉管損傷	
事故概要	電気配管の道路横断を行うため、バックホウで掘削作業中、埋設されていた温泉管を損傷させたもの。				
	公衆損害—地下埋設物件損傷				

## 事故発生状況



・照明配管の敷設にあたり、バックホウ0.10m<sup>3</sup>級を使用し、道路横断部の掘削を行っていたところ、温泉管(戻り管φ75)の直上(埋設シートよりも上)に転石が出現したため、一旦バックホウでの床掘作業を止めて、監視員兼手元作業員がその転石をスコップ(人力)で除去しようとしたが動かせなかった。

・そこで監視員兼手元作業員がバックホウのオペレータに転石を除去するよう指示し、バックホウ(0.1m<sup>3</sup>級)で除去する際、バケットの爪で温泉管の戻り管を破損させた。

・図面等による事前確認、直近箇所での試掘を実施していた。(ほぼ想定通りの埋設深さであった、)



### 【事故発生原因】

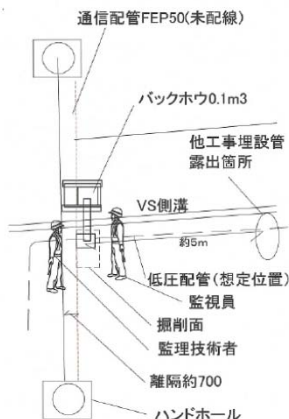
・地下埋設物付近で作業を行う際の注意不足。  
など

### 【事故防止のポイント】

・埋設物に近接して作業を行う際の注意事項を周知・徹底する。  
など

発生日時	平成 25 年 10 月 7 日 (月) 14 時 20 分			天候	晴
工事情報	公園系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	通信用配管切断	
事故概要	標識基礎設置のため、バックホウで床堀作業をしていたところ、埋設してあった通信ケーブル用の配管をバックホウのつめに引っ掛けて切断したものの。				
	公衆損害—地下埋設物件損傷				

## 事故発生状況



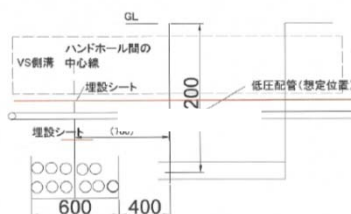
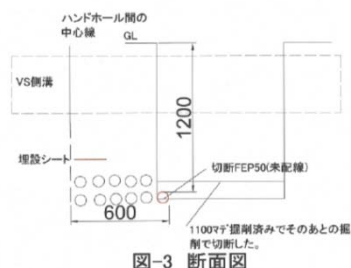
・標識基礎設置床堀作業中、バックホウ0.1m3級で埋設通信配管FEP50をバックホウで切断した。

・事前に埋設系統を配管図、HHの位置で確認し、切断した通信配管系統はHHの中心線より約70cm程度離れており掘削予定断面内にある可能性が低いと判断した。

・今回切断系統とは別系統の低圧配管がVS沿いに埋設してあることが図上及び露出していた配管で確認でき、その方が危険だと判断し、人力先行で掘削していた。

・しかし低圧配管の埋設シートが確認できず露出した低圧配管よりも深く掘削しても低圧配管が出ないので埋設配管がないと思い、人力掘削作業員を他の作業につけ機械掘削をし掘削予定断面にはないと想定した通信配管を切断した。

・当該箇所における試掘は実施していなかった。



### 【事故発生原因】

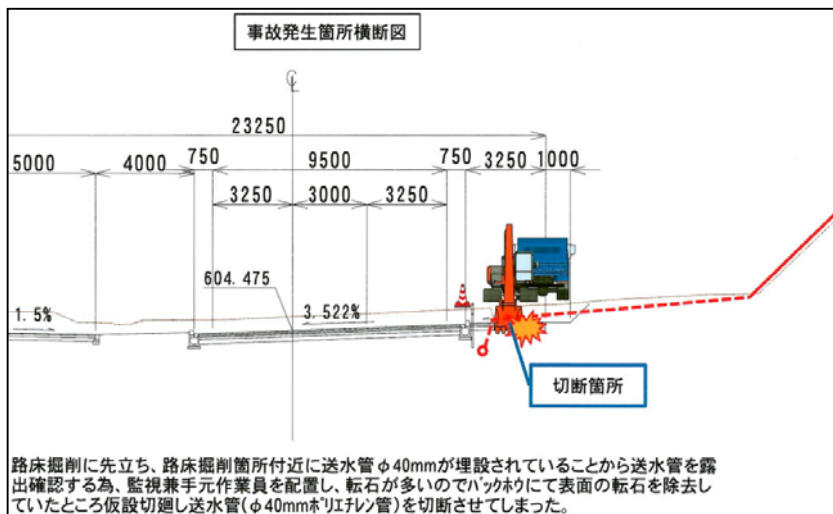
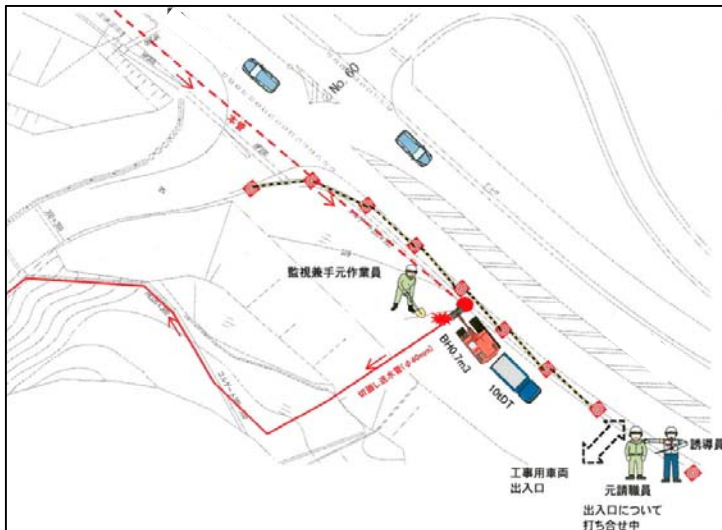
- ・地下埋設物に対する注意不足。  
など

### 【事故防止のポイント】

- ・地下埋設物がある場所での作業は、慎重に実施する。  
など

発生日時	平成 25 年 10 月 19 日 (土)			9 時 15 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	水道管損傷		
事故概要	付替道路の路床掘削作業時に、転石除去中にバックホウにて既設水道管を切断したものの。					
公衆損害—地下埋設物件損傷						

### 事故発生状況



- ・事故当日は現場にて8:00より朝礼及びKYを行った後、国道現道脇にて路床掘削を行う予定であった。
- ・路床掘削箇所付近に送水管φ40mmが埋設されていることから送水管を露出確認する為、監視兼手元作業員を配置し、転石が多いのでバックホウにて表面の転石を除去していた。
- ・その際、仮設切廻し送水管(φ40mmホリエチレン管)を切断させてしまった。
- ・転石を人力掘削での除去が困難であると判断し、機械で除去を行った。
- ・当該箇所における試掘は実施していなかった。

**【事故発生原因】**  
 ・地下埋設物に対する注意不足。  
 など

**【事故防止のポイント】**  
 ・地下埋設物がある場所での作業は、慎重に実施する。  
 など

発生日時	平成 25 年 10 月 28 日 (月) 22 時 3 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	信号機ケーブル引き抜き	
事故概要	バックホウにて既設照明灯基礎部を掘削作業中、信号機ケーブル用埋設配管を引き上げてしまい、信号機1機が不点灯となったもの。				
公衆損害—地下埋設物件損傷					

## 事故発生状況



バックホウで配管を引き上げた



ケーブルを引き上げてしまい、端子台から外れてしまった。

・バックホウにて既設照明灯基礎部を掘削作業中、警察管理の信号機ケーブル用埋設配管(FEP管φ約50)を引き上げてしまい、信号機1機が一時不点灯となり、その2分後交差点内すべての信号が点滅に切り替わった。

・埋設配管を引き上げた拍子で、信号柱下部の端子台からケーブルが5本抜け落ちてしまったので、再接続することで、交差点内の信号機すべてが復旧した。

・埋設管路(FEP管)が損傷。中のケーブルには損傷なし。

・図面等による事前確認を実施したが、埋設深さの詳細は不明であり、信号機近くのハンドホールで確認したところ、55cm付近にケーブルが確認できたので、40cmから手掘での作業を予定していたが、実際の埋設深さ30cmであったため、引っ掛けてしまった。

・当該箇所における試掘は実施していなかった。

### 【事故発生原因】

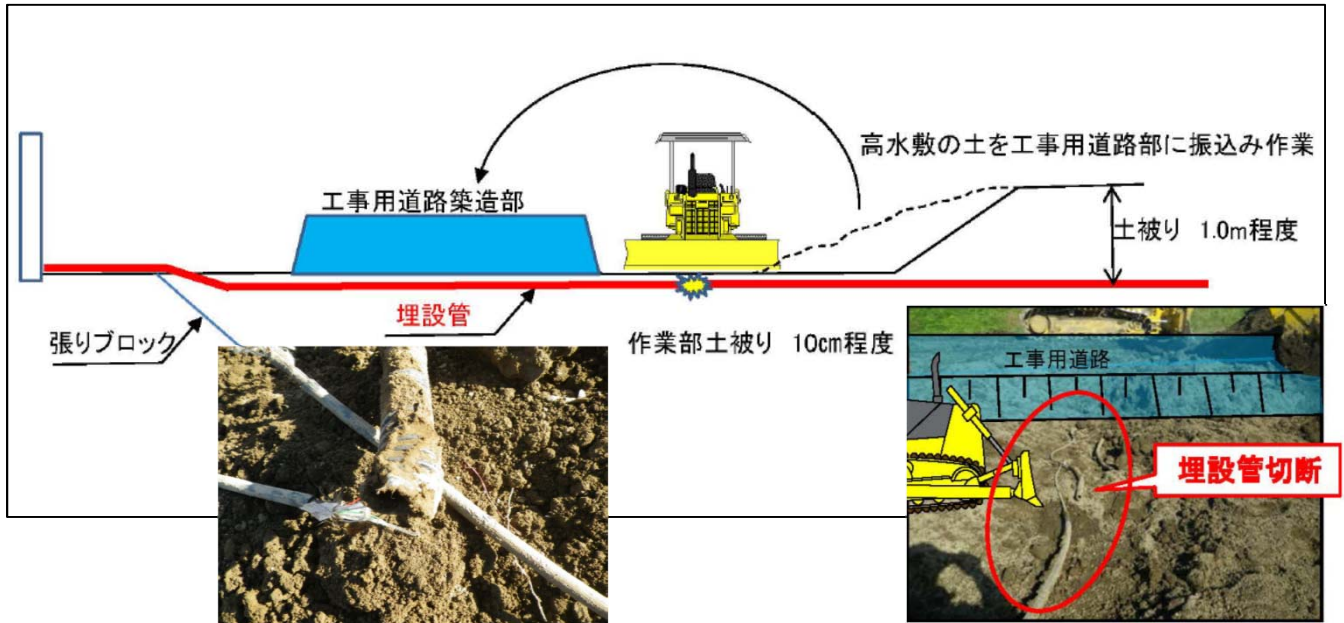
- ・地下埋設物に対する注意不足。  
など

### 【事故防止のポイント】

- ・地下埋設物がある場所での作業は、慎重に実施する。  
など

発生日時	平成 25 年 11 月 13 日 (水) 12 時 0 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	水位計ケーブル切断	
事故概要	河川の高水敷にて、築堤工事のための仮設(敷鉄板)施工中、重機の通行により地下に埋設してあった水位計ケーブルを切断したもの。				
	公衆損害—地下埋設物件損傷				

## 事故発生状況



- ・工事用道路築造部に高水敷の土を振り込み作業中だった。
- ・作業時、バックホウ及びブルドーザが頻繁に往来しており、埋設管までの土被りが10cm程度だったことに気がつかなかった。
- ・埋設箇所の上部を重機が走行中、地面より水がしみ出しているのが確認され、不審に思い掘り出したところ、水位計ケーブルが切断されていた。(しみ出した水はケーブルの防護管の内部にたまっていた河川水と見られる。)
- ・埋設シートは入っていなかった。
- ・施工者は管の埋設は知っていたが、当時の作業は掘削ではなく、不陸整正程度の考えしかなく、管に影響がないと判断し、試掘などの十分な事前調査を実施していなかった。また、埋設シートが入っているものと思っていた。

### 【事故発生原因】

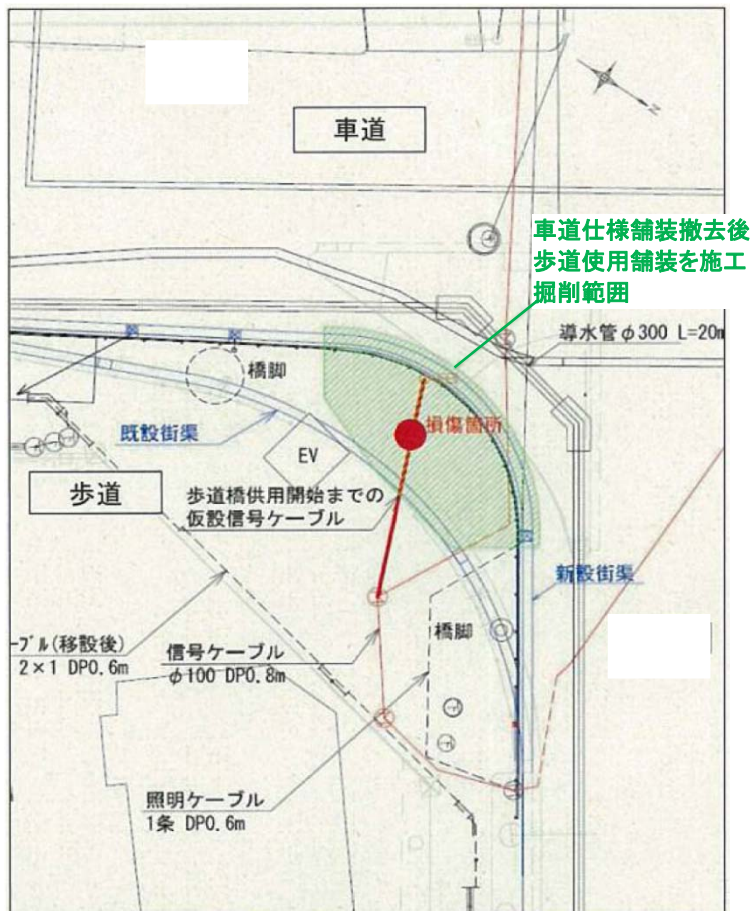
- ・地下埋設物に対する注意不足  
など

### 【事故防止のポイント】

- ・地下埋設物付近で作業を行う場合は、影響をよく検討し、十分な事前調査や安全対策を実施する。  
など

発生日時	平成 25 年 11 月 22 日 (金) 23 時 50 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 橋梁工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	歩行者用信号ケーブル損傷	
事故概要	交差点形状変更に伴う街渠移設工事を行っており、街渠新設箇所及び移設により新たに歩道として供用される部分の車道仕様舗装を壊し、アスファルト殻の積み込み作業を行っている際に、埋設仮設歩行者用信号ケーブルを損傷させたもの。 公衆損害—地下埋設物件損傷				

## 事故発生状況



- ・交差点形状変更に伴う街渠移設及び新たに歩道として供用される部分の歩道仕様舗装への打ち替えを実施していた。
- ・現況の車道仕様舗装の壊しをバックホウで行い、アスファルト殻の積み込み作業を行っている際に、埋設されていた仮設歩行者用信号ケーブルを損傷させた。
- ・当該ケーブルは、警察協議に伴う交差点形状の変更を実施した際に、本工事において仮移設した歩行者用信号ケーブルであった。
- ・当該箇所には改良体があったことから改良体の上までは刃を入れてもケーブルに当たらないだろうと思込み、信号ケーブルの埋設範囲も同様に作業した。その際に、アスファルト殻を集積しようとした刃先がケーブルを引っ掛けて損傷させてしまった。

### 【事故発生原因】

- ・地下埋設物に対する注意不足など

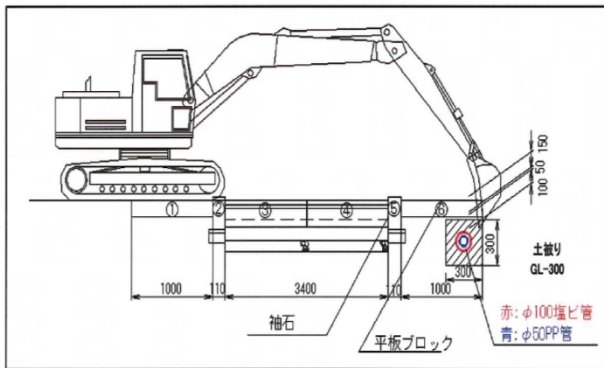
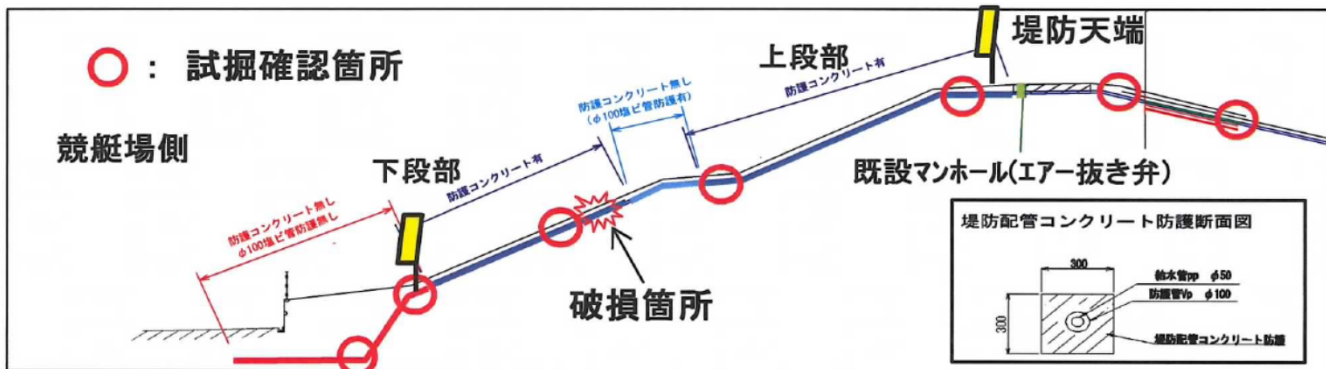
### 【事故防止のポイント】

- ・地下埋設物の位置や作業手順などを周知徹底する。など



発生日時	平成 25 年 12 月 11 日 (水) 16 時 23 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	水道管損傷(公園トイレ・水飲場断水、約5.5時間)	
事故概要	堤防工事で川裏において、階段をバックホウにて撤去作業中、埋設されていた水道管を損傷させたもの。				
公衆損害—地下埋設物件損傷					

## 事故発生状況



- ・試掘を実施し、埋設位置を確認し埋設明示を行っていた。
- ・コンクリート構造物(階段)の取壊しを行い、Co殻を集積中、水道防護コンクリートを階段の袖ブロックと見間違えバックホウの爪にて引っ掛け、中の給水管ごと切断した。
- ・水道管は、公園のトイレ、水飲場に接続されていた。

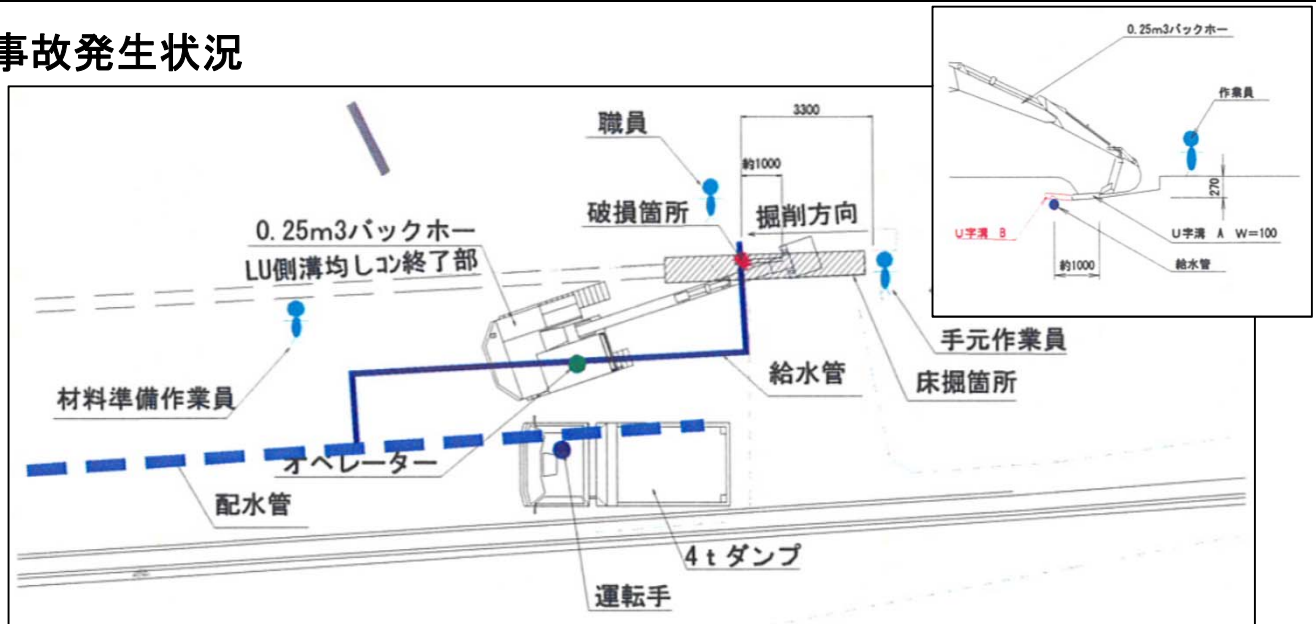


**【事故発生原因】**  
 ・地下埋設物に対する注意不足。  
 など

**【事故防止のポイント】**  
 ・地下埋設物がある場所で作業を行う場合の注意点等を周知・徹底する。  
 など

発生日時	平成 25 年 12 月 11 日 (水) 14 時 35 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	埋設水道管損傷(5軒断水、約2時間)	
事故概要	LU側溝据え付けのための掘削作業を施工していた際に、約250mmの深さに埋設されていた水道給水管(塩ビ管、 $\phi$ = 約25mm)を損傷させたもの。				
	公衆損害—地下埋設物件損傷				

## 事故発生状況



### 【事故発生原因】

- ・地下埋設物に対する注意不足。  
など

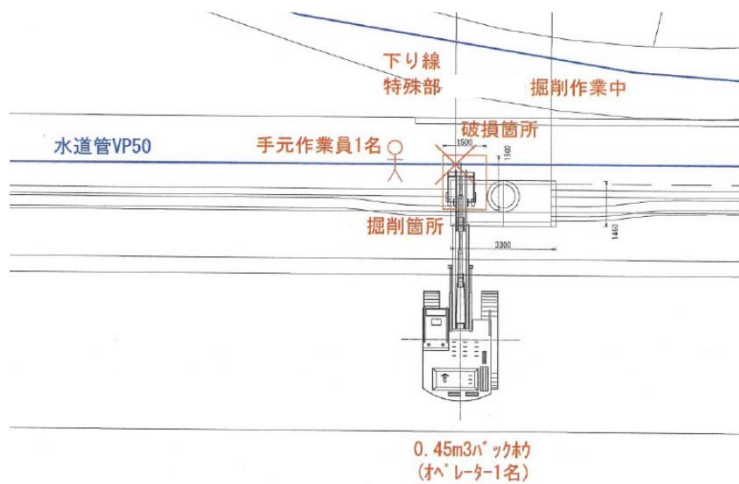
### 【事故防止のポイント】

- ・地下埋設物がある場所で作業を行う場合の注意点等を周知・徹底する  
など

- ・LU側溝を敷設するために、バックホウ(0.25m<sup>3</sup>)で床掘りをおこなっていた。
- ・地中障害として過去に敷設されていた既設のU字溝が出てきたため、そのU字溝をバックホウで撤去しようとした。
- ・その際、撤去しようとしていたU字溝に隣接する別のU字溝も同時に動き、給水管(塩ビ管、 $\phi$  = 25mm)を圧迫した結果、損傷した。
- ・本作業以前に、下水道管埋設工事を行っており、その際に水道管の平面位置、埋設深等は受注者で把握していたが、周知が不足していた。

発生日時	平成 26 年 1 月 20 日 ( 月 ) 10 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	水道管損傷(民家2軒に供給)	
事故概要	電線共同溝施工のため、バックホウで土砂掘削作業中に、水道管φ50mmを損傷させたもの。損傷した水道管は2軒の民家に供給していた。				
公衆損害—地下埋設物件損傷					

### 事故発生状況



- ・電線共同溝特殊部設置のため、手元作業員1名とバックホウオペレータ1名の計2名で土砂掘削作業を実施していた。
- ・敷設済みの上水道管をバックホウのバケット部で土砂と一緒に掻き上げ、損傷させた。
- ・当日の作業は、上水管の上面約30cm程度に埋設シートが位置する筈との指示により、それを目安に掘り続けたが、埋設シートを見つけた時点は上水管の上約10cmであり、それを発見した時は既にバックホウが両者を掻き上げ、折れた上水管から水が噴き出した。

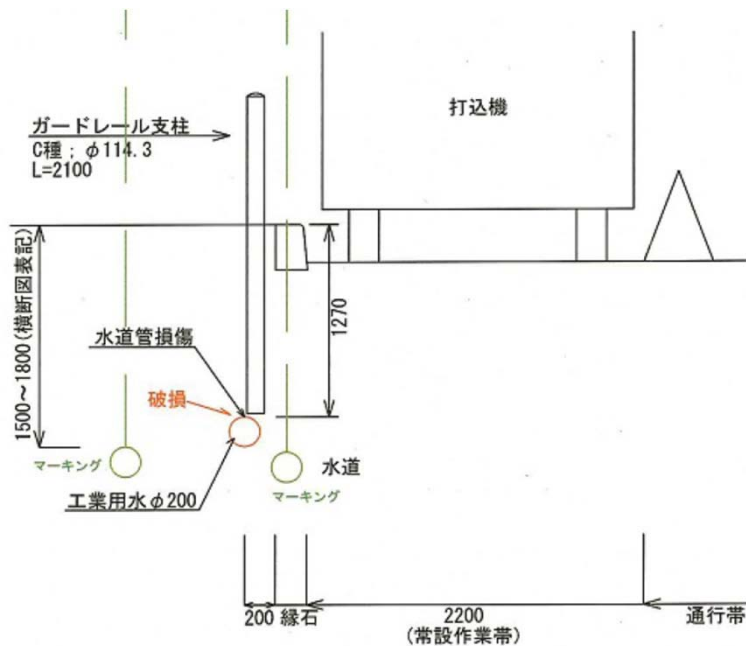


**【事故発生原因】**  
 ・地下埋設物に対する注意不足 など

**【事故防止のポイント】**  
 ・地下埋設物が予想される箇所では、作業前に試掘等を実施し、作業は慎重に行う。 など

発生日時	平成 26 年 3 月 19 日 (水) 17 時 0 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 アスファルト舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	工業用水管損傷	
事故概要	ガードレールの支柱打ち込み作業中に、埋設されていた工業用水管を損傷させたもの。				
	公衆損害—地下埋設物件損傷				

## 事故発生状況



- ・常設作業帯にてガードレール支柱の打込み作業を行っていた。
- ・打込み開始後、縁石天端からH=1270程の位置にて打込みが止まったため、支柱を一度引抜き手掘り掘削にて確認を行ったところ、地面からじわじわと水が湧いてきたため、水道局に電話をし現地を確認してもらった。
- ・その結果、工業用水管φ200に接触しヒビが入っていたことが判明した。
- ・当日は、この作業をやる予定はなかったが、作業員の判断により、先行して実施してしまった。

### 【事故発生原因】

- ・当日の作業指示が周知徹底されていなかった。
- など

### 【事故防止のポイント】

- ・当日の作業指示を明確にし、作業員に周知徹底を行う。
- など